



「高森みどり中学校」を廃止する根拠を質す

背景や問題点

一 高森みどり
中学校がなく
なる」降つて
湧いたような
話に、地域に
は大きな衝撃
が広がっています。そこで、
廃止の理由と根拠、地元の理
解の重要性などについて質し
ました。

反対の声に向き合い 地域との話し合いを！

したことはありません。
した魅力ある学校をいざ
廃止するというのには、
とても理解できません。

政に対する信頼は地に落ち誰も協力しなくなります。地域のみなさんととことん話し合うべきです。

答弁 のご意見は重く受けとめて
いますが、何よ
りもますこれから入学していく
子どもたちのことを見優先
に考えて、県立学校の再編整
備を進めていきます。



とは明らかです。学校を実際に視察し、生徒が生き生きと学ぶ様子も肌で感じましたし、地域の核ともなっている魅力ある学校を廃止することは許されません。県政は県民のためにあります。地域のみなさんの声が県政に届くようできる限りの努力をします。



廃止の反対署名提出

民が傍聴したことは初めて傍聴しました。その第一印象は「落胆」です。行政に対する監視・監督や政策反映等、もう少し本質的な論戦があるものかと思つていましたが、そうで時間的離隔的

答弁に落胆

高森みどり中学校

〔高森みどり中
学校の存続を求める会〕の署名が1万人を超えて、反対と怒りの声が満ちています。生徒からも疑問や不安の声が寄せられています。このまま強行したら、教育行

度で議員が臨んでいるのか、山口県教委が進める教育について、唐突に決めた高校再編計画をどのような態度で感じたいと思い行ってきました。

はない。一生懸命質問して
も行政はきちんと答弁せず
また、聞く態度でない議員
やヤジをする議員もチラホ
ラと。

の声があるはずです。その声を聞かずして行政や党の案に迎合してしまつては何の意味の議員でしょう。論戦の場となつてもらいたいものです。

周東町
50代男性